

SOKYO
ATSUMI



國久真有 《WIT-WIT HOLE LIGHTS》、2019、キャンバスにアクリル、H292×W292×D3.5 cm

Photo by M.Sato@October studios

國久 真有

THE BUTTERFLY DREAM

プレス内覧会：2022年6月16日（木）

一般公開：2022年6月18日（土） - 7月27日（水）

SOKYO ATSUMI

140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階 #304
開廊時間：11:00 - 18:00（火 - 木） 11:00 - 19:00（金・土） 休廊日：日・月

SOKYO ATSUMI

140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階
+ 81 (0)80 7591 5212

プレスリリース

SOKYO ATSUMI では、國久真有「THE BUTTERFLY DREAM」を開催いたします。
今春、京都の艸居アネックスで開催された個展「BUTTERFLY EFFECT」に引き続き、本展では夢と現実の境界に焦点を当て、國久作品の本質に迫ります。

國久真有は 1983 年大阪府生まれ。現在は関西圏を中心に画家として活動を広げています。2019 年には「第 22 回岡本太郎現代芸術賞展」特別賞を受賞。2022 年は艸居での展覧会以外にも、開催中（～7/24）の兵庫県西脇市岡之山美術館「國久真有一絵画を生きる」やソウルでの個展も開催されるなど、國久にとって飛躍の年となります。

本展では、一辺が約 3m の巨大なスクエアサイズのペインティング《WIT-WIT》シリーズを発表いたします。そのサイズから「六甲ミーツ・アート芸術散歩」といった野外芸術祭で公開制作されることが多かった大作ですが、このたびホワイトキューブの空間で初めて披露されます。この 3 点の大作を中心に、3m の大型ペインティングを切断して作られた小作品《AUTOLYSIS》シリーズを交えながら展覧会を構成しております。

展題「THE BUTTERFLY DREAM」は、中国・戦国時代の思想家である荘子の有名な説話『胡蝶の夢』から取られています。

「夢の中で蝶となって宙をひらひらと舞っていたが、目を覚まして我に返ると人間の荘子であった。蝶になった夢を見ていたのか、それとも夢の中での蝶こそが自分自身であるのか…」

この説話は夢と現実の境界や、物事が変化していく様を例えていると考えられています。國久は「人々は現実と夢を分けて考えがちだが、本当にそうなのだろうか。そこに思いを巡らせながらこの言葉を展題に選んだ」と述べています。

國久のペインティングの特徴は、身体を目一杯使って描き出す線描にあります。身体を軸とし腕のストロークと遠心力を用いて円弧を重ねて描いていく《WIT-WIT》シリーズの名称は、古代ローマ時代の建築家ウィトルウィウスの『建築論』の記述をもとにレオナルド・ダ・ヴィンチが 1485～1490 年頃に描いたドローイング『ウィトルウィウスの人体図』に由来します。四角い平面に作家自身の身長と同じ長さの円が積層し、何次元もの空間の奥行きが生まれます。本シリーズは 2014 年より継続して制作に取り組んでいます。

「弧の線」を重ねることで「光」を表現しているという國久。フリーハンドで平面の上に描き出される線は円弧となりますが、作家自身の視点からすればそれは自らの体に対し真直ぐに存在している線でもあります。本来ならば目に見えないはずの線が、その時の心情や、季節、環境、気温といった外的要因に応じて選択された色彩でキャンバスの上に描かれています。

本展で展示される大型ペインティングは、中央に白い空間が存在しています。これは 3m 近いキャンバスの大きさもあり、全身を使った円弧の描写が届かず「絵具が塗られていない」部分です。絵を描く行為の結果として生み出された白い空間は、絵具と支持体の結びつきを暗示しているようでもあります。そのイリュージョニスティックな境界性はまさしく『胡蝶の夢』を想起させ、歴史的に絵画が言及し続けてきた「描く／描かれる」といった二項関係を鑑賞者に問いかけます。

絵画を描くことに真摯に向き合いながら制作されたスケール感溢れる國久の作品を、この機会にぜひご高覧いただけますと幸いです。

作家略歴

國久 真有（くにひさまゆ）

1983 年大阪府生まれ。2003 年にロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ校ファウンデーション・ディプロマ・イン・アート・アンド・デザインコースを修了、2012 年神戸芸術工科大学芸術工学研究科総合アート専攻修士課程修了。

主な個展には 2012 年「1day cafe presentation by kunihisamayu」神戸天昇堂（神戸・兵庫）、2018 年「wit-wit smile selection collection spring 2018」KOBE STUDIO Y3 #405（神戸・兵庫）、2018 年「BEAT PER MINUTE」TEZUKAYAMA GALLERY（大阪）、2022 年「BUTTERFLY EFFECT」艸居アネックス（京都）、「國久真有一絵画を生きる」西脇市岡之山美術館（兵庫）。

主なグループ展には 2019 年「第 22 回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館（川崎・神奈川）、2019 年「AQUA」pavart rome（ローマ・イタリア）、2019 年「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2019」（神戸・兵庫）、2020 年「+FUSION」原田の森ギャラリー（神戸・兵庫）など。

主な受賞歴には 2007 年「神戸芸術工科大学セレンディップコンペティション」グランプリ、2017 年「UNKNOWN ASIA」審査員賞：松尾良一賞、レビュアー賞：中島麦賞・三村康仁賞、2018 年「第 22 回岡本太郎現代芸術賞」特別賞などほか多数。

出品作品（一部）



國久真有 《STAR BRB》2018
キャンバスにアクリル
H91.3×W86×D3cm



國久真有 《AUTOLYSIS 15-36》2021
キャンバス張りした木製パネルにアクリル
H41×W41×D1.9cm

是非、貴社・貴誌にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けますと幸いです。

プレス担当（東京）：金田 幸
〒140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3 階 #304
Mail: sokyoAtsumi@gallery-sokyo.jp Tel: 080-7591-5212